

日米投信概況

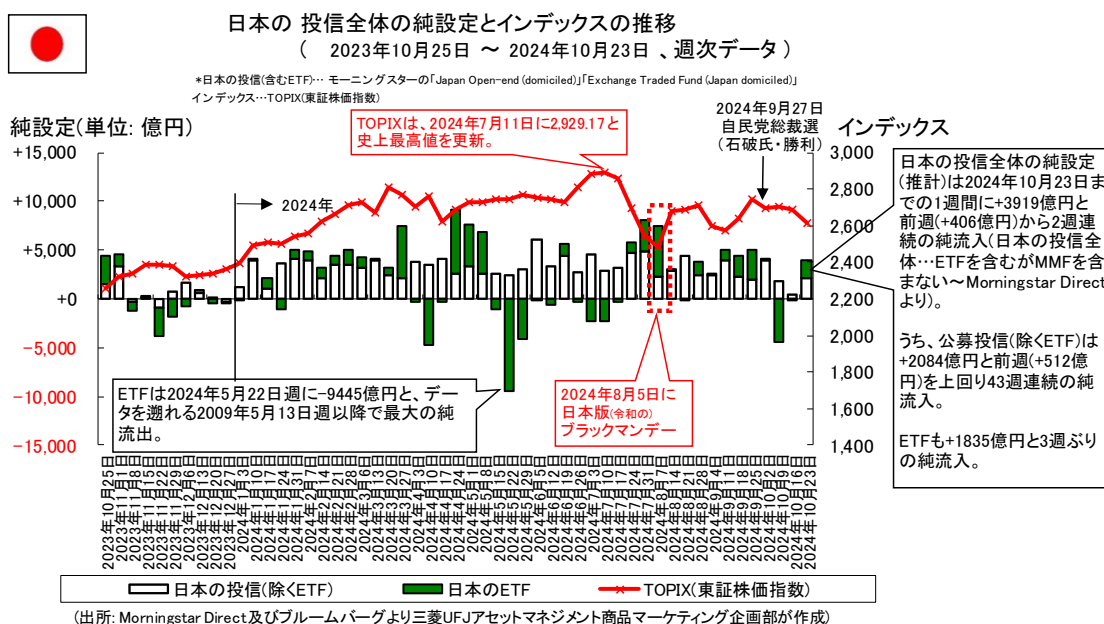
日本では日本株(大型グロス)ファンドに5週ぶりの純流入！
米国では日本株・中国株ファンドの流入が鈍化する中、
商品ETF(金ETFなど)に流入！

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)
窪田真美 (mami1-kubota@am.mufg.jp)

- 日本では日本株(大型グロス)ファンドに5週ぶりの純流入！ 衆院選を前に逆張り買い.....p.1
- 米国では日本株・中国株ファンドの流入が鈍化する中、商品ETF(金ETFなど)に流入！p.3

●日本では日本株(大型グロス)ファンドに5週ぶりの純流入！ 衆院選を前に逆張り買い

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年10月23日(水)までの1週間に+3919億円と前週(+406億円)から2週連続の純流入(日本の投信全体...ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。公募投信(除くETF)は+2084億円と前週(+512億円)を上回り43週連続の純流入(新NISAが始まった2024年1月来純流入)、ETFも+1835億円と3週ぶりの純流入だった。



公募投信(除くETF)の最新10月23日週の純設定額+3919億円について分類別に見る。純流入1~5位は北米株、グローバル株、日本株大型グロス、グローバル株-日本を除く、日本債-中長期。日本株大型グロスが5週ぶりの純流入。個別で見て日経225連動インデックスファンドが軒並み純流入に転じた。日本株大型グロスは、9月25日週-185億円、石破茂氏が自民党新総裁に勝利した10月2日週-415億円、衆議院解散の10月9日週-336億円、10月16日週-490億円と、4週連続純流出だったが、(2024年10月27日)投開票の衆院選前10月23日週に+378億円と純流入となった。日経平均は10月25日に37,913.92円と衆議院解散前日10月8日から-2.62%下となり、逆張り買いが出ている可能性が高い(2024年10月15日付日本版NISAの道 その41「石破政権は新しい資本主義を加速、資産運用立国を引き継ぎ発展、投資大国日本を実現~林芳正内閣官房長官と加藤勝信財務相兼

金融担当相と赤沢亮正経済再生担当相、金融行政方針も継承~」 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/>

なお、2024年10月27日(日)投開票の衆院選は与党が-64減の215(自民党-56減の191、公明党-8減の24)と、総定数465の過半数233を18下回った。立憲民主党は+50増の148、日本維新の会は-6減の38、国民民主党は+21増の28(議席が18以上ある3党)。11月7日召集(見通し)の特別国会に向け、無所属議員の取り込みで過半数をめざすものの、連立もしくは(閣内に入らない)閣外協力となる可能性も高い。



日本の投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順)

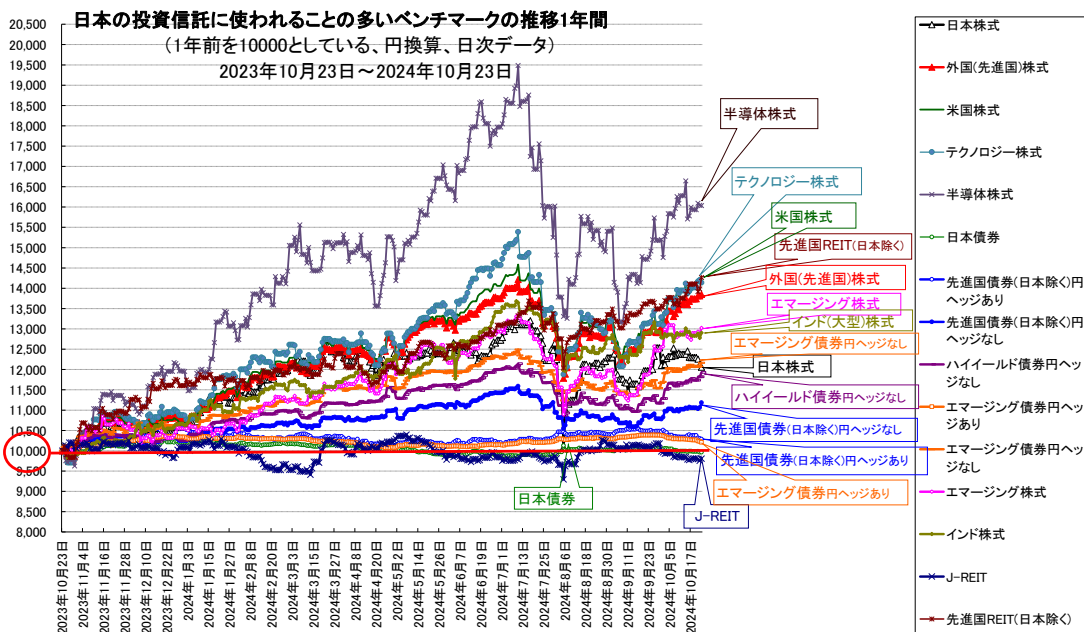
2024-10-23現在

*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 North America Equity	+77,792	+94,138	+416,260	21,361,139	北米株
	2 World Equity	+72,333	+53,972	+337,225	17,748,178	グローバル株
	3 Japan Large-Cap Growth Equity	+37,775	-49,021	-86,321	6,010,029	日本株大型グロース
	4 World ex-Japan Equity	+27,588	+11,428	+99,964	11,910,626	グローバル株-日本を除く
	5 Japan Bond - Long/Intermediate	+19,395	+2,571	+74,729	4,071,360	日本債-中長期
	6 Trading - Leveraged/Inverse Equity	+8,931	-11,356	-22,713	652,528	トレーディング-レバレッジド/インバース株
	7 Moderately Aggressive Allocation	+8,871	+3,254	+34,573	4,531,982	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
	8 World ex-Japan Equity - JPY Hedged	+8,196	-331	+7,839	439,703	グローバル株-日本を除く-円ヘッジ
	9 Commodity	+8,163	+3,201	+21,309	1,012,015	商品
	10 US REIT	+4,735	+6,897	+20,873	2,507,031	米国REIT
↓ 下位 10 分類	13 India Equity	+2,747	+4,039	+32,362	3,059,196	インド株
	74 Greater China Equity	-546	-1,305	-1,871	110,028	中国株
	87 Japan REIT	-2,013	-1,312	-15,156	2,113,586	日本REIT
	88 Japan Money Market	-2,026	+3,840	+5,886	34,525	日本マネー
	89 North America Equity - JPY Hedged	-2,244	-1,994	-6,589	666,460	北米株-円ヘッジ
	90 Japan Other Equity	-2,695	-1,627	-5,764	394,430	日本その他株
	91 Japan Small-/Mid-Cap Growth Equity	-2,881	-2,402	-9,848	995,227	日本中小型グロース株
	92 World Other Equity	-3,317	-2,830	-9,350	915,451	その他グローバル株
	93 Risk Control Allocation	-3,413	-1,990	-9,813	1,231,897	リスクコントロール・アセットアロケーション
	94 Alt-Multistrategy	-6,135	+847	-10,613	797,232	オルタナティブ-マルチストラテジー
95 World ex-Japan Bond - JPY Hedged	-8,202	-2,145	-13,065	1,312,016	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ	
96 World Specialty Equity	-43,142	-34,539	-92,977	12,771,036	グローバル・特定テーマ/セクター株	
全96分類の合計		+208,355	+51,161	+835,128	134,046,843	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-2.00	-0.61	+0.43		
S&P500		-0.76	+0.90	+1.41		
MSCI ワールド		-1.00	+0.54	+0.18		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。



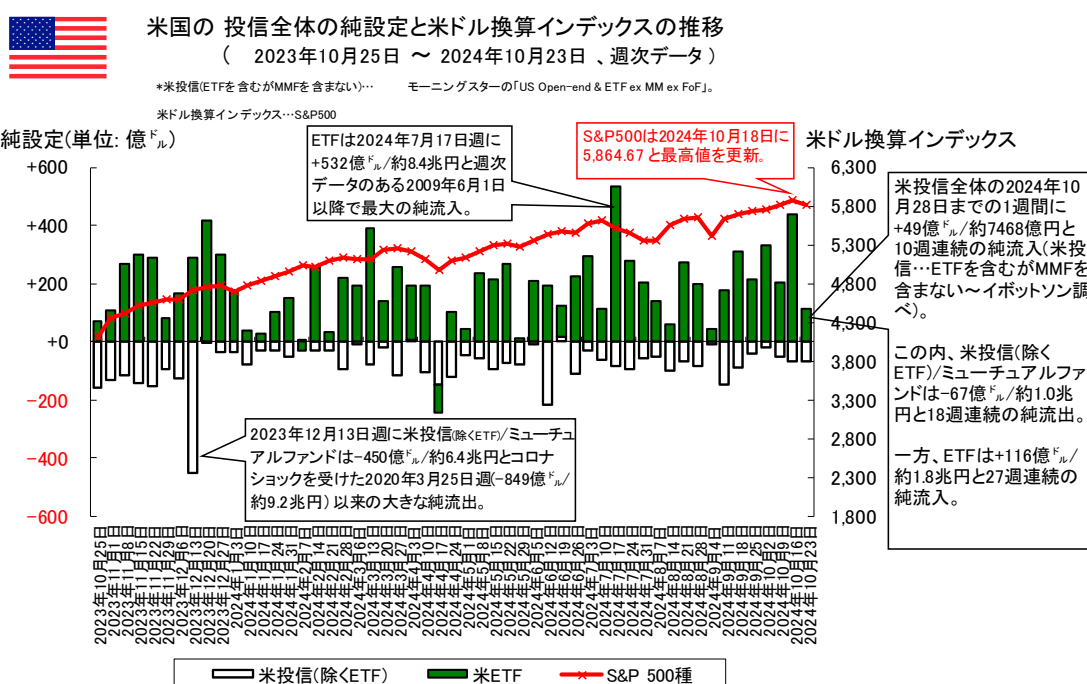
(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成) ※ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

●米国では日本株・中国株ファンドの流入が鈍化する中、商品ETF(金ETFなど)に流入！

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年10月23日までの1週間に+49億^{ドル}/約7468億円と10週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。うち、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-67億^{ドル}/約1.0兆円と18週連続の純流出。一方、ETFは+116億^{ドル}/約1.8兆円と27週連続の純流入となった(継続的なミューチュアルファンドの純流出)

出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ http://www.am.mufg.jp/report/investsite/column_211127.pdf)o

NYダウは2024年10月18日に43,275.91米^{ドル}と過去最高値を更新。2024年8月5日の直近安値(38,703.27米^{ドル})から+11.8%上。S&P500も2024年10月18日に5,864.67と最高値を更新。2024年8月5日の直近安値(5,186.33)から+13.1%上。



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

*米Morningstarが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

その中、2024年10月23日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。米国株は-35億^{ドル}と2週ぶりの純流出、セクター株は-2億^{ドル}と2週連続の純流出。一方、外国株は+24億^{ドル}と5週連続の純流入。債券は+40億^{ドル}と21週連続の純流入。オルタナティブは+13億^{ドル}と7週連続の純流入、コモディティは+15億^{ドル}と10週連続の純流入で加速傾向。

投資対象をより細かく分類別に見る。純流入1～3位は、外国大型ブレンド株、米国超短期債、商品・フォーカス。

米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2024-10-23現在

***ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

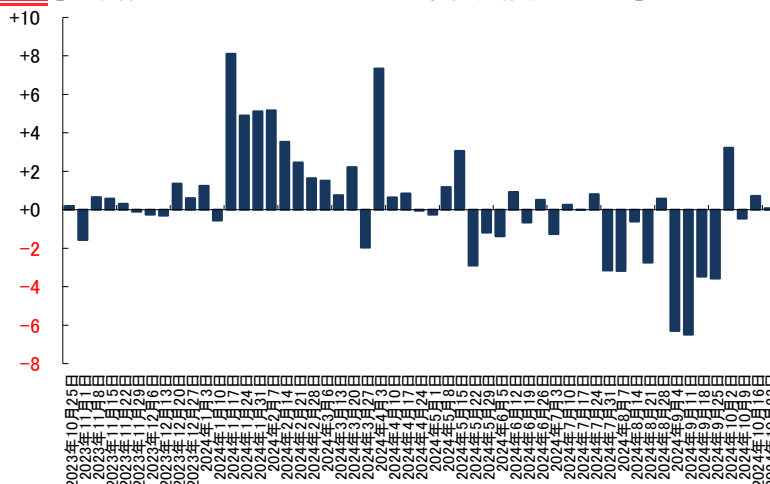
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Foreign Large Blend	+2,505	+1,169	+5,732	1,017,237	外国大型ブレンド株
2	Ultrashort Bond	+1,581	+228	-1,372	312,336	米国超短期債
3	Commodities Focused	+1,504	+705	+2,941	156,476	商品・フォーカス
4	Digital Assets	+1,428	+1,094	+3,728	79,287	デジタル資産(ビットコイン等)
5	Intermediate Core Bond	+1,353	+1,738	+6,161	719,846	米国中長期コア債
6	Intermediate Core-Plus Bond	+1,009	+1,724	+6,454	612,779	米国中長期コアプラス債
7	Derivative Income	+629	+435	+2,647	101,896	デリバティブ・インカム
8	Multisector Bond	+616	+683	+3,527	151,815	マルチセクター債
9	Intermediate Government	+554	+2,037	+4,260	215,852	米国中長期国債(4-6年)
10	Muni National Interm	+433	+1,144	+2,920	235,429	米国全米地方債
14	China Region	+260	+1,247	+12,791	38,441	中国株
44	Japan Stock	+7	+71	+355	34,151	日本株
51	India Equity	+0	-43	-244	16,897	インド株
113	Emerging Markets Bond	-271	-364	-663	58,716	グローバル・エマージング債米ドル建て
114	Moderate Allocation	-274	-228	-907	493,576	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)
115	Mid-Cap Value	-329	-144	-917	276,303	米国中型バリュー株
116	Short Government	-545	-59	-858	73,579	米国短期国債
117	Trading--Leveraged Equity	-610	-431	-167	103,397	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
118	Long Government	-855	+1,796	+1,410	142,230	米国長期国債(6年超)
119	Mid-Cap Growth	-894	+547	-2,552	333,752	米国中型グロース株
120	Corporate Bond	-1,131	-363	-2,695	165,682	社債
121	Large Value	-1,278	+237	-955	1,464,405	米国大型バリュー株
122	Large Growth	-1,341	-548	-5,953	2,201,899	米国大型グロース株
全122分類の合計		+4,903	+37,220	+88,589	20,536,143	
指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)			
TOPIX (東証株価指数)	-2.00	-0.61	+0.43			
S&P500	-0.76	+0.90	+1.41			
MSCI ワールド	-1.00	+0.54	+0.18			

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

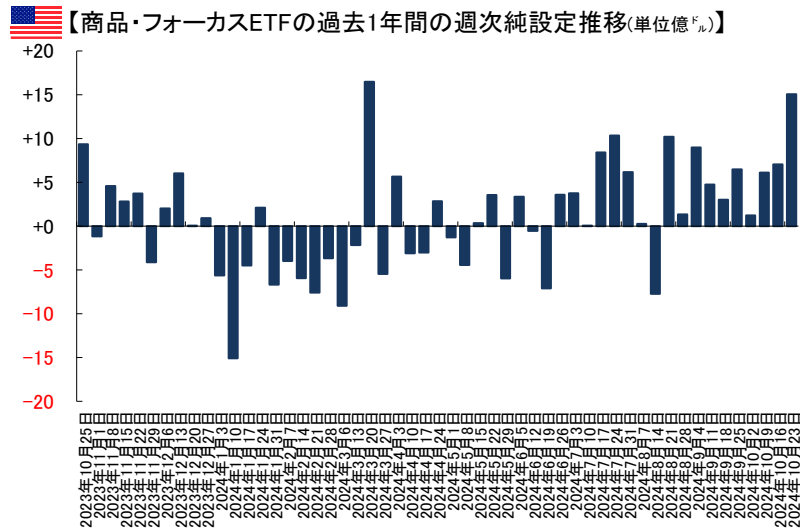
日本株は最新10月23日週に+700万ドル/約11億円と、前週(+0.7億ドル)に比べ小幅純流入となり全122分類中44位(←前週41位)。 日本株は8月下旬から、ミューチュアルファンドもETFも大幅な純流出が続いていたが、**石破茂氏が自民党新総裁に決定(9月27日)、日経平均が9月30日に急落(前営業日比-1,910.01円/-4.80%の37,919.55円)した10月2日週は+3.2億ドルと4月3日週(+7.3億ドル)以来の大きな純流入となった。**

【日本株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】



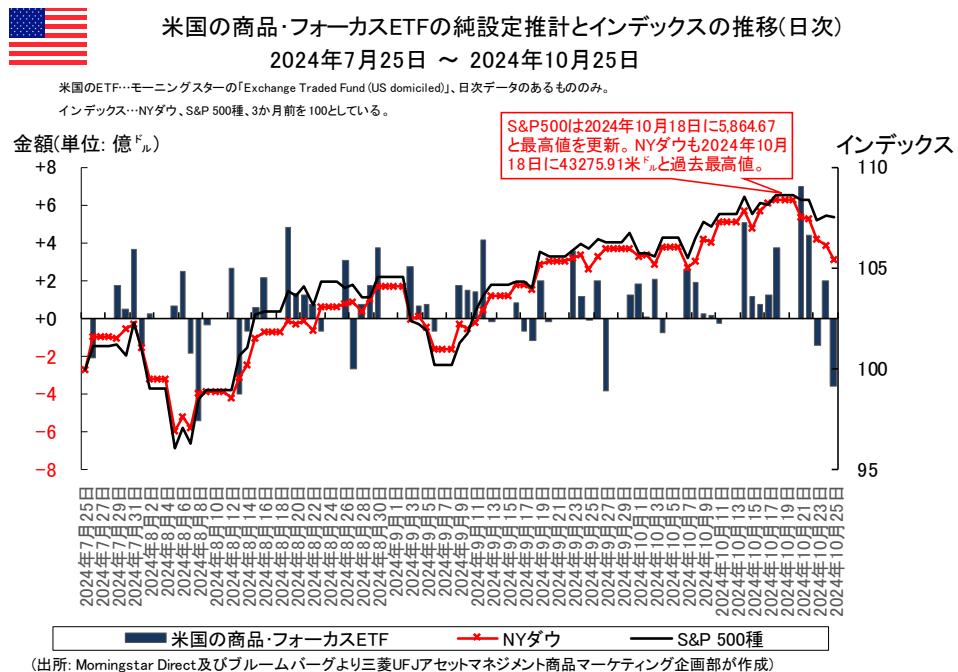
(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

3位の商品・フォーカスは最新10月23日週に+15億ドル/約2290億円と純流入加速傾向で、3月20日週(+16億ドル)以来7か月ぶりの大きな純流入。商品・フォーカスは、すべてETFであり、「SPDR Gold Shares」など金ETFが大きい。



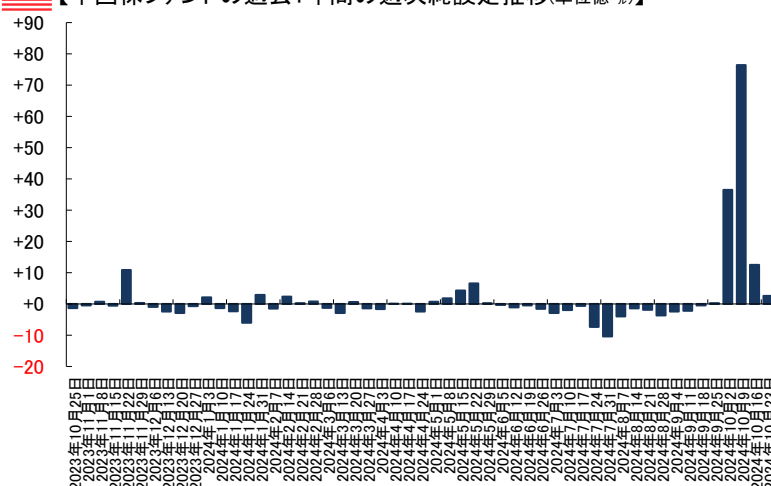
(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

ただ、日次で見ると、商品・フォーカスETFは、S&P500とNYダウが最高値を更新した翌営業日2024年10月21日(月)の+7.0億ドルをピークに、10月22日+4.4億ドル、10月23日-1.4億ドル、10月24日+2.0億ドル、10月25日-3.6億ドルとなっている。



10月9日週に+75億ドル/約1.1兆円と2009年6月からの週次ベースで最大の純流入となった中国株を見る(2024年8月15日付投信調査レポート(No.425)「米国で中国株ファンド(ETF)に過去最大の純流入！インドや日本から中国へシフト？～世界の中国株投資ファンドフロー～」https://www.ammf.jp/report/investigate/report_241015.pdf)。中国株は最新10月23日週に+2.6億ドル/約396億円と、前週(+12.5億ドル)から純流入は大幅減速、全122分類中14位。

【中国株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

2024年10月18日付ブルームバーグは「ブリッジウォーターの中国ファンドが利益急伸、相場上昇前に買い増し」という見出し記事を報じていた。「ブリッジウォーター・アソシエーツの中国本土へのヘッジファンドは本土株のエクスポージャーを増やしていた。9月の株価上昇でファンドの年初来リターンは31%に達したが、本土株には引き続き投資妙味があるという。上海を拠点とする同ファンドは7-9月(第3四半期)の投資家向け書簡で、中国本土株の株価は回復したとはいえ、利益見通しと比べて『相対的に低い』ことから、引き続き保有を『適度に増やす』と説明した。」(2024年

10月18日付ブルームバーグ「ブリッジウォーターの中国ファンドが利益急伸、相場上昇前に買い増し」~ <https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2024-10-18/SLJKLADWX2PS00>)。

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会